

上ヶ原用水路

ウエガハラヨウスイロ



指定日：昭和56年(1981)3月25日 種別：史跡

慶安年間（1648～1651）、尼崎藩領広田村の地内であった上ヶ原台地開発のために造られた用水路。社家郷山の水を、仁川大井滝の地点から上ヶ原台地へと引き込む。同じく仁川に注ぐ五ヶ山の水を利用していた大市庄5か村と上ヶ原新田の間では、水の分配をめぐる争いが繰り返された。水論の結果設けられた分水樋が関西学院裏に残存する。